

日本作業療法士連盟
ホームページ



作業療法士として 安心して働き続けるために

もらってますか？
ベースアップ評価！

日本作業療法士連盟 渡邊雅行（佐々木病院）、塚田大紀（富山城南病院）

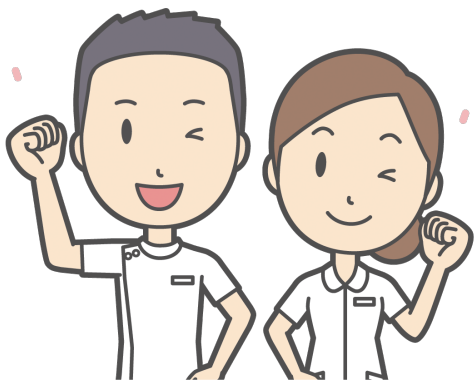
2024年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定がなされ、診療報酬改定では、作業療法士を含む医療従事者の賃上げを目的としたベースアップ評価料が2024年6月から始まりました。これは産業全体で賃上げが進むなか、医療従事者の賃上げをすることによって人材確保に努め、良質な医療提供を続けるための取り組みで、このベースアップ評価料による診療費の上乗せ分はすべて医療従事者の賃上げに充てられるとのこと。近年、電気代やガソリン代、生活必需品等の物価が上昇し、今後も更に見込まれている中、皆さんの給与明細の5月と6月を比較すると、基本給や手当が上がり、定額減税も含め支給額が増えているのではないのでしょうか。

しかし、このベースアップ評価料が新設された背景に、リハビリテーション専門職の地道な政治活動があったことを多くは知られていないのではないかと思います。2013年に自由民主党議員によるリハビリテーションを考える議員連盟（リハ議連）が設立され、2024年6月11日に、第9回総会を開催した際には、国会議員は代理出席を含め107名、リハビリテーション関係者も全国から100名を超える人数が出席しました。この総会では、リハ専門職三協会会長による報告、厚生労働省等関係省庁による説明、そして国会議員との意見交換を通して、三協会からの要望が決議として承認され、国会での議論にもまた反映されております。

今年に入ってから、富山県リハビリテーション専門職団体協議会の活動の一環で、リハ専門職三協会会長らが、三協会会長やリハ議連に所属の田畑衆議院議員とともに、富山県庁等を訪ね、リハビリ関連施策の充実を求める要望書を提出するなどの働きかけを行いました。要望書には、当士会が担っている「特別支援学級等の派遣事業」についてや「幼児の健診・発達相談の支援体制強化事業」「JRATおよびDPATの活動と専門職の参画について」「リハビリテーション臨床実習指導者普及事業」「リハビリテーション専門職の質の向上(大学・大学院の設置)」「障害者雇用のモニタリング」「高齢者および障害者の自家用車運転のサポート」などが含まれています。皆さんの関心のある、今後が期待される内容が入っているのではないかと思います。

対して、昨今の作業療法士が置かれている状況を鑑みると、決して良いとは言えないことと皆さん感じているのではないのでしょうか。このような状況において、日々の臨床における作業療法の成果や効果、有用性を社会的に広めていくためには、政治活動もまた必要だと思います。日本作業療法士協会と日本作業療法士連盟は、平時の政治活動と選挙活動を両輪で協力して行っており、その会員である皆さんの一人一人の考えやその行動が社会を変容させていくことができるということを、政治活動を通じて感じていただければ幸いです。

新入会員の



本年度は例年よりたくさん
の新入会員が
県士会に
加わりました。

皆でもっとも
っと県士会活
動を盛り
上げていきま
しょう。



お

知

ら

せ



氷見
+2

入善
+1

魚津
+1

高岡
+11

小矢部
+1

富山
+36

砺波
+2

自宅
+3

南砺
+2



合計 +59 名

作業療法体験会

光ヶ丘病院 吉澤 泰輝

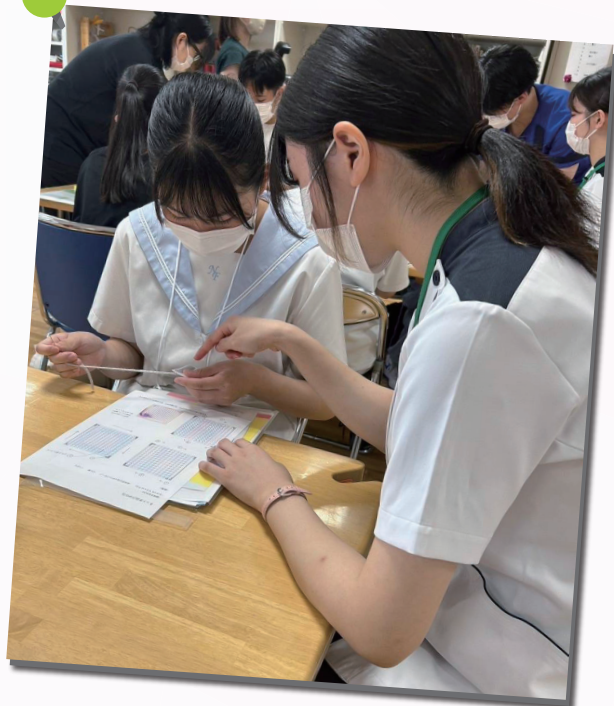
令和6年7月28日に作業療法体験会が厚生連高岡病院で開催されました。今回の参加人数は、1～3年生の高校生14名で、作業療法科学生2名にもボランティアとして参加していただきました。

体験会の内容としては、日本作業療法士協会作成の概論動画の視聴、片手でのネット手芸体験、座談会が県内の学校紹介が行われました。

概論動画は認知症に関する動画で、聞きなじみのある疾患のため学生も理解しやすい内容となっていたと思います。

ネット手芸体験では、ペットボトルでネットを押さえ、片手で作業しました。「手芸体験は難しかったです」との意見があり、片手で作業することの難しさや、障害を持った方の気持ちを理解する良い体験になったのではないかと思います。

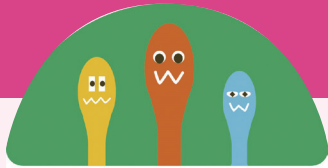
座談会では、高校生4～5人と部員2～3名の4グループに分かれ、30分間行いました。どの学生も作業療法に興味があり、将来は作業療法士になりたいと思っている学生でした。質問の内容は、「OTとPTの違い」「患者との関わり方」「勉強は大変か」など様々なものがありました。



私は、グループの司会を務めましたが、グループ内の学年が違うこともあり緊張して中々発言しにくいように感じました。そこで私からテーマを挙げ、「作業療法士という仕事を知ったきっかけ」「興味を持った理由」など学生に質問しました。ほとんどは、「自分が怪我した時に関わってくれたりハビリスタッフのようになりたい」という意見でした。その後は、学生たちからの質問が増え、進路選択のことや、普段の仕事内容など、より作業療法について話す事が出来ました。「作業療法と言う名前は知っていたが、具体的な仕事内容は知らなかったため理解が深まりました」「実際に

働いている人の意見を聞いて進路選択の参考になりました」などの意見が聞かれ、高校生の役に立つことができたのではないかと感じます。他のグループでは質問が多く、座談会の時間が足りなかったという意見もあり、自分の司会としての能力不足を感じました。最後にこのような素晴らしい後輩育成の機会を与您いただき感謝致します。





つくし学園

TSUKUSHI GAKUEN

児童発達支援センター つくし学園 館 理歌

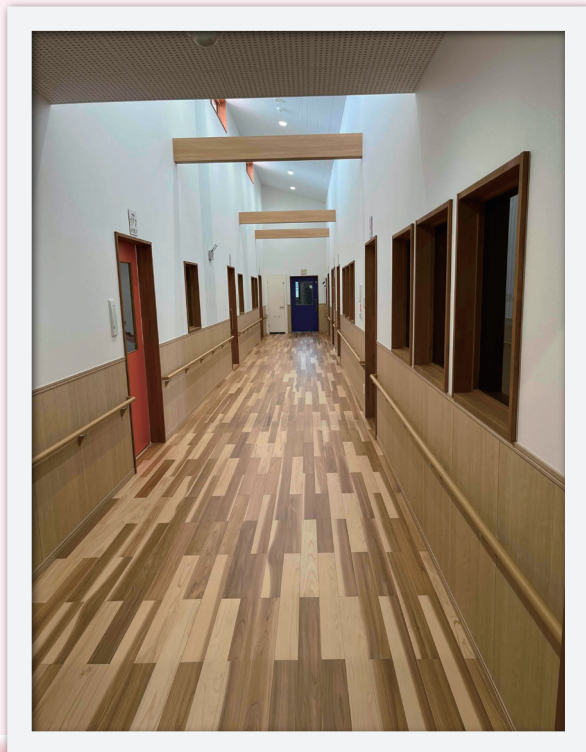
当施設は今年の6月より新園舎となり、児童発達支援センターつくし学園として新たなスタートを踏み出しました。魚津市の海まで見渡せる自然豊かな環境で子どもたちがのびのびと過ごしています。

当施設は児童発達支援センターとして通園（現在33名）、親子で月に二回の小集団療育を受けられるりんご教室（8グループ42名）、保育所等訪問支援事業、相談支援事業（発達相談）を行っています。保育士、社会福祉士、児童指導員、看護師、作業療法士と多職種で子どもとご家族を関係機関と連携しながら支援しています。

新園舎はこれまでの施設の2倍以上の広さになりました。またこれまで手作りで行っていた「吊り遊具の部屋」や「ほしの部屋」が作られました。「吊り遊具の部屋」には感覚統合で

使用するブランコを天井から吊り下げることができ、オーシャンスイングやホーススイングに姿勢保持が難しい子どもたちも大人と一緒に乗る経験をしています。またチューブスイングやフレクサースイングにはしがみついて乗ったり、またいで乗りながら大人に揺らしてもらって様々な揺れを楽しんでいます。「ほしの部屋」には子どもたちがリラックスして過ごすためのスヌーズレンが設置されており、暗い部屋の中で優しい光や心地よい水の音をきいて過ごすことができます。部屋の中にはyogiboとMOGUの大型クッションもあるため子どもたちは寝転んだり、丸まった姿勢になりながらほしの部屋での時間をゆったりと過ごしています。

地域の中核を担う児童発達支援センターとしての役割の大きさを感じながら、子どもたち一人ひとりが良い経験を積み重ねることができるよう多職種で連携をとりながら子どもたちの支援に努めていきたいと思えます。





介護老人保健施設
きぼう

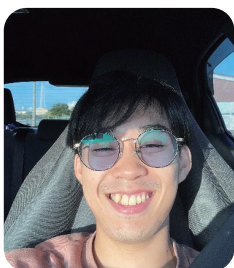
佐伯 絃里

県士会の皆様こんにちは。老人保健施設アルカディア雨晴の宮前帆花さんからバトンを受け継ぎ、今回のコラムを担当させていただきます。介護老人保健施設きぼうの佐伯絃里と申します。宮前さんとは富山医療福祉専門学校の同級生でした。学生時代、勉強が苦手です。実習を乗り越え、国家試験に合格することが出来るのか、とても不安でした。しかし、同級生や先生方に助けられながら無事に作業療法士になることができました。作業療法士として働き始め、早や5年目になりましたが、毎日勉強の日々です。大変なこともあります。利用者様に「ありがとう」や「頑張ってるね」と感謝や励ましの言葉をかけてもらい、やりがいを感じながら働くことができています。

最近のマイブームは野球観戦です。2023年に開催されたWBCで侍ジャパンが優勝した決

勝戦を観て、野球に興味や関心を持ち、今シーズンはプロ野球を2回観戦しにいきました。球場での野球観戦はテレビでは味わえない迫力や熱気、非日常感があります。小学生の頃は父に連れられてルールも分からずに観戦していましたが、今ではお酒を呑みながら野球観戦をして自分も大人になったと感じます。また、私は一度興味を持つと、とことんハマるタイプなので、推しの球団や選手、マスコットキャラクターのグッズを少しずつ増やしているところです。今シーズンはもう観に行く予定はありませんが、来シーズンのプロ野球や次回のWBCは2026年に開催される為、とても楽しみです。

最後に、次は富山県立中央病院に所属している松尾怜奈さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお願いします。



福岡町
たぐちクリニック
田口 鼓太郎

県士会の皆様こんにちは。大学の同期である大崎優暉さんからバトンを引き継ぎ、今回コラムを担当させていただきます。福岡町たぐちクリニックの田口鼓太郎と申します。しばらく県外に住んでいましたが、今年から大好きな富山県に帰ってきました。

さて、今回は私の趣味についてお話させていただきます。私の趣味はサッカー観戦です。国内・海外、カテゴリー、年代関係なく、幅広く見っていますが、特に現地観戦をしているのは地元のカターレ富山の試合です。小学5年生の時から応援をしています。きっかけは初めて観に行った試合が日本代表の多くいたFC東京でなんと勝ってしまい「面白いな、次も観にいこう」となったのが始まりです。最初はただサッカー観るのが面白いという感情だけでした。しかし、段々と富山という名前が入ったチーム、色んな縁から富山を選んできて

くれた選手が戦っているそんな光景が地元好きな私の心を強く動かして応援したいという感情になり、ゴール裏で大声張り上げて応援するようになりました。試合中は富山の選手が戦いやすい雰囲気を作るために応援を頑張るのでやはり気持ちが入りいいプレーがあると自然と拍手やガッツポーズがでて本能で楽しめます。そんな中で勝てば選手とともに最高のムードで喜びあえます。もちろん勝負の世界なので負ける日もあります。サポーターも選手と悔しさを味わいお互い叱咤激励しあって前を向けます。そういうことも含めて選手と地元の名を背負ってともに成長し戦っていけるのが魅力だなと感じています。これはカターレ富山にだけいえることではないと思っています。ほかの富山のスポーツチームでも味わえることだと思います。なので、皆さんよければサッカー、野球、バスケットでもハンドボールでも富山を背負って戦うクラブ・選手を一度観にいらえると嬉しいです。次のバトンは富山県リハビリテーション病院の坂井亜伽里さんに渡そうと思います。よろしくお願いします。

令和6年度 第3回理事会

理事会 議事録

日時：令和6年6月9日（日） 12時～

場所：富山医療福祉専門学校

出席者：齋藤、桐山、吉波、大平、渡邊、水島、中川、
丁子、能登、堀口、田中、塚田、森、小倉

欠席者：なし

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 新組織体制について

会長：齋藤 副会長：桐山、大平

事務局長：塚田 承認

- ・理事会議事録作成順と流れ

作成の流れ（別紙）作成…塚田

※議事録作成順は、3役、理事、監事以外
で回す

2) 6月震度3の地震発生について

OT協会より被害状況の確認連絡あり、齋藤会
長より報告（半壊、全壊の被害なし等）

今後、何かしら、OT協会から経過報告や経過
等の発表などの依頼があるかもしれない（渡邊
理事）

OT協会からの寄付金自体は、使用用途まっ
ておらず自由なため、今後の対策など使用検討

3) 普及指導部

のぼり旗の購入について

既に発注済のため、今後必要性があれば、富
作さんバージョンなども検討（渡邊理事）

4) 会員システムについて

5月30日 業者（古川氏）から説明を受ける
…3役ほか理事数名

内容は、事前に古川氏からメールにて送られ
てきたものの詳細の説明

システムの更新が必要となっていることに関
し3案あり。簡単には、①現状我慢して小幅に
修正しながら使用（トラブルのリスク高い）、
②最大100万円かけてPHP、WordPress最新版
にて更新し作り直すことで安定度を増す（リス
クはやや減少）、③古川氏の知り合いの業者に

■ 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	大杉 真優佳	介護老人保健施設 アルカディア氷見	ふるさと病院	
異動	盛崎 成美	富山協立病院	自宅	
異動	池畑 広明	介護老人保健施設 チューリップ苑	富山西リハビリテーション病院	
異動	永山 鮎美	自宅	くじらぐも・となりのくじらぐも	
改姓	鈴木 ひな緒			旧姓:柴原
新入会	森谷 真衣		金沢医科大学氷見市民病院	
新入会	黒淵 萌乃		特別養護老人ホーム ささづ苑	
新入会	北山 依寿美		富山西総合病院	
新入会	西川 朝基		南砺市民病院	
新入会	濱崎 莞多郎		西能クリニック	
新入会	竹内 佑	金沢リハビリテーションアカデミー	富山リハビリテーション医療福祉大学校	
退会	島 夕子			

委託し、最大300万円かけ、フルスクラッチでまるっきり作り直すの3つ

次回、次々回くらいまで改めて理事の考えをまとめながら、方向性決定へ

5) その他

- ・総会資料の県士会員派遣のところにある「高岡市医師会在宅医療連携協議委員会」について

医師会→高岡市に主催が変更。また担当者は藤井氏から佐賀氏に変更となる（森監事）

- ・団体保険の加入について

事業内容、人数などがはっきり分かれば加入できる。近々加入の方向で、その際に会員に案内する

発達部会では、例年、年度はじめから派遣始まるため、例年加入しているボランティア保険に6月に加入済み

- ・協会教育制度について

次年度より基礎研修の制度が大幅に変更。概論の部分が、前期、後期の日程などになる

協会から来ている動画を会員などに見せるなどして周知する（能登理事）

学校の方では、4年生には見せる予定（中川理事）

- ・東海北陸リーダー育成研修会について

日にち：11月23日（土）ZOOMにてと決定。

講師は、國學院大学の尾田 基（おだ はじめ）先生を予定。

詳細内容については検討中

- ・7月20日（土）

OT協会主催で地域事業支援会議開催

3役の誰かにも出てもらう予定…大平副会長が適任かと（齋藤会長）

- ・役員改選に伴う登記書類の件

理事会議事録への押印や新任理事の実印、印鑑証明が必要なため、次回理事会にていただきたい

場所は富山城南病院会議室にて行い、必要なものは再度確認して連絡行う（塚田事務局長）

令和6年度 第4回理事会

日時：令和6年7月18日（木）19時から

場所：富山城南病院

出席者：齋藤、桐山、吉波、大平、渡邊、塚田、水島、中川、能登、堀口、田中、森

欠席者：丁子、小倉

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 新組織体制について

事務局長 塚田 大紀 富山城南病院

総務部 吉波

財務部 塚田

渉外部 吉波

福利厚生 田中

広報部 塚田

システム部 塚田

企画調整局長 堀口 明美 谷野呉山病院

企画調整部 堀口

事業局長 桐山 由利子

富山県リハビリテーション病院

・こども支援センター

普及指導事業部 渡邊

制度対策部 保健委員会 田中

生活支援推進局長 桐山 由利子

富山県リハビリテーション病院

・こども支援センター

生活作業療法委員会 水島

福祉用具支援事業委員会 桐山

MTDLP推進委員会 能登

運転と作業療法 丁子

新川地区 大平

富山地区 桐山

高岡地区 森・齋藤

砺波地区 田中

学術局長 大平 正和 あさひ総合病院

基礎医学部会 水島

高齢者支援部会 田中

精神障害部会 堀口

身体障害部会 水島

発達障害部会 桐山

教育局長 能登 健司 かみいち総合病院

生涯教育部 能登

- 臨床実習 中川
 リハビリテーション専門職普及支援室
 地域リハ 齋藤
 災害リハ 大平
 訪問リハ 齋藤
 リハビリテーション専門職協議会
 齋藤、大平、塚田
2. 日本作業療法士協会関連
- 1) 意見交換会および工程表に関する意見について
 工程表は提出済
 意見交換会について相談
 ー他県士会の議事録を参考にして富山県士会からの意見の集約方法を検討し協会への意見をまとめて交換会に臨む
- 2) 令和6年度第1回 協会・士会委員会
- 3) 5歳児健診研修
 7月28日 日曜日 13時から16時半
 桐山氏が派遣調整中
 発達期からの支援をしていかなないとならないので各自の仕事の領域を広げるためにも、分野を問わず参加を促す
 保健センター事業のため公立病院のOTに声をかける
 検診への参加状況：南砺市のOTが3ヶ月検診に参加している
- 4) 6月3日地震発生について
 OT協会より被害状況の問い合わせあり、状況を報告した
3. 富山県関連
- 1) 福祉用具専門相談員協会 介護フェス
 9月19日
 於：砺波市鷹栖のスリーティーで開催
 パネルディスカッション 選択制（杖、歩行補助具、スロープ）とモニタリングについて
 訪問リハ（四十物氏）に派遣者を呉西地区OTに限定し調整依頼済、返事待ち
- 2) フレイルフェス 10月 於：ファボーレ
 専門職協議会会議にて検討しOT士会は参加予定
 市町村の取り組みの紹介

- 3) 東海北陸作業療法学会
 脳卒中関連の座長依頼
 長江氏（県リハ）より選出、手続きは齋藤会長
- 4) 田畑氏の後援会を結成
 世話人会に会長出席

《検討事項》

- 1) 旅費交通費規定について
 県内外の交通費は1キロ20円で計算し上限1000円をなくし、片道30km以上の場合には必要に応じて高速道路を利用した場合は実費を支払う
 宿泊費の上限を協会に合わせて変更する
- 2) 名刺新デザイン
 :承認され必要数を聞いて発注
- 3) 昨年度の学会演題登録システム費用未払いと今年度の費用値上がり
 昨年度の演題登録システム費用44,000円は次年度学会予算の仮受金から支払う
 今年度は値上がりし88,000円だが利用していく
- 4) 県学会参加費徴収方法について
 Peatix（ピーティックス）を利用する
- 5) 県学会の発表者を増やしていく必要がある
 学会発表を増やすために部会や委員会で後押しして育てていく
 現職者研修で事例報告会を行いそれを手直しして県学会につなげていっていたが、最近は報告会が学会に近すぎて発表につなげられないので現職者研修会の流れを調整し早めに事例報告会を行う
- 6) 部会配属の在り方について
 部会配属の時期は新入会時に割り振りをするのが適切か
 数年経験を積んでから希望に基づき移動する
- 7) 部会活動
 コロナ前に行っていたように、部会での研修会開催のみならず、その研修会開催に向けての勉強会等を再開し、そのような繋がりの中で学会発表につなげていく
- 8) 次期学会 富山北地区担当
 学会長：護摩堂氏（富山リハビリテーション医療福祉大学校）が了承

令和6年度 第5回理事会

日時：令和6年8月8日（木）19時から

場所：オンライン

参加者：齋藤、桐山、吉波、大平、渡邊、塚田、水島、
中川、能登、堀口、丁子、田中、森、小倉、

欠席者：能登、森

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 広報部

- ・理事会での案を齋藤会長より広報部へ伝える
(会長と富山県の先輩OTとの対談、認定OT
取得者からのアドバイス、能登半島地震震災
支援等)
- ・次回9月19日原稿メ切 県士会ニュース ベ
ースアップ加算(渡邊・塚田)、要望書(齋
藤)

2) 普及指導事業部

- ・作業療法士体験会
呉西 7月28日 厚生連高岡病院
高校生14名 保護者4名
北日本新聞取材
- 呉東 8月18日 県立中央病院
高校生10名参加予定

3) 生涯教育部

- ・現職者共通研修 7月および8月平日夜
オンライン開催 約30名受講

4) MTDLP推進委員会

- ・7月28日 北陸三県合同MTDLP事例検討会
30名参加 うち富山県からは5名参加
- ・MTDLP基礎研修 9月8日開催予定

5) 災害リハビリテーション委員会

- ・災害訓練 9月25日実施予定

6) リーダー研修会 11月24日開催予定

午前講演
午後グループワーク県士会から5名

7) その他 県士会後援 7月21日

協力隊ネパール会主催「誰もが安心して暮ら
せる地域づくり」および写真展に県士会会員会
場・リモート参加あり 後日報告書提出

2. 日本作業療法士協会関連

- 1) 意見交換会および工程表に関する意見につい
て

工程表は提出済 意見交換会について今回が
見送る

- 2) 令和6年度第1回 協会・士会委員会

(ハイブリッド)

9月21日・22日 塚田現地(東京)出席予定

9月21日 桐山 大平 Zoom出席予定

- 3) 5歳児健診研修

桐山氏 石田氏(南砺市こども家庭センタ
ー)より理事会へ報告書提出済

3. 富山県関連

- 1) 福祉用具専門相談員協会 介護フェス

9月19日 パネルディスカッション

みしま野苑一穂 稲田氏

選択制とモニタリングについて

- 2) フレイル予防フェスタ2024

10月12日開催予定 3士会全て参加。

OTは高齢者支援部会より2名、普及指導事業
部は調整中

4. 東海北陸作業療法学会 座長依頼

長江氏(県リハ)の書類提出済

《検討事項》

- 1) たばた衆議院議員後援会(仮)について

OT士会より、副会長、顧問・相談役、監事、
幹事 幹事塚田 また、県士会元役員等に声か
けし就任を依頼する

ST士会は、副会長 西田氏、顧問・相談役
なし、幹事 亀谷→要検討、幹事 なし

9月22日設立総会 桐山、大平 出席予定

- 2) 県士会副会長1名増員し、3人体制

継続審議

令和6年度 第6回理事会

日時：令和6年9月19日（木）19時から

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、吉波、大平、塚田、水島、中川、堀口、
丁子、田中、森、能登、小倉

欠席者：桐山、渡邊

《報告事項》

1. 県士会関連事業

- 1) MTDLP
 - ・ 9月8日(日) 基礎研修終了 29名参加
 - ・ 12月4日(水) MTDLP事例検討会
地域で活躍しているOTから発表してもらえたら
 - 2) 県学会
 - 参加費3,000円 他職種1,000円
 - 演題募集中 新人の症例発表について
 - 添削者は学会関係者も可能
 - 若手の相談、発表など
 - 3) 福利厚生部
 - ほたるいかマラソンに9名ボランティア
 - 県士会の旗を事務局に取りに行く必要あり
 - 4) 精神部会の研修会 12月
 - 5) 福祉用具研修会
 - 9月19日 稲田氏パネリストとして参加
2. 日本作業療法士協会関連
 - 1) 意見交換会および工程表に関する意見について
 - ・ 東海北陸士会長会議にて確認済
他県実施したが、意見を聞いたのみ
意見交換会に参加しない方向もありか
もう少しまとまってから参加でもよいか
→様子を見る
 - 2) 令和6年度第2回 協会・士会委員会
 - 9月21、22日 対面
 - 塚田事務局長 東京2日間
 - 大平副会長 オンライン、21日
 - 齋藤会長・大平副会長オンライン
 - 事前アンケート 理事会にて入力内容協議
個別で回答し、塚田事務局長に情報集約
 - 3) 第2回地域事業支援会議
 - ・ 10月5、6日 ハイブリッド開催
9月20日〆切
 - ・ 大平副会長、水島理事、池端氏 3名出席
 - 4) 保健活動を推進するための研修会
 - ・ 10月5日 オンライン
 - ・ 桐山副会長から氷見OT、齋藤会長から南砺市のOTに依頼 1名、9月27日〆切
 - 5) 災害委員会
 - 9月25日 メーリング報告訓練予定
(個人と施設の代表(HPから)が報告)
 3. 富山県関連
 - 1) フレイルフェス
リハビリ専門職協議会として参加
近日、PT、OT、STで打ち合わせ予定。謝金10,000円と返答あり。
 - 2) リハビリ専門職協議会
 - 9月22日 研修会
リハ全体で48名 OT12名
目標はOTで30名 全体で100名
 - 9月29日 研修会
定員満たしておらず、声掛けしていく
 4. 東海北陸
 - 1) 東海北陸作業療法学会
 - ・ 士会長会議開催。リーダー研修会の依頼済。
 - ・ 2025年度 愛知県、2026年度 福井県、2027年度 静岡県、2028年度 富山県
26年度から準備していく予定 企画調整部が動いていくか検討
 - ・ 協会、士会との意見交換会 事前資料をまとめる必要がある。
 - 2) リーダー研修会
 - 富山県より5名 11月23日(土)
 - 10時から16時 オンライン
 - 運営委員は国際会議場
 - 各県士会から参加費7,000円 10月18日〆切
 - 候補は、池端氏(生活)、角畑氏(身障)、指田氏(調整中)、南氏(財務)、岡田氏から推薦した方
 - 田中理事は参加難しい
- ≪検討事項≫
- 1) 富山県の最低賃金の上昇に伴い、時給1,000円に変更。事務局員も。10月から変更。
補正予算も必要であれば検討。950円だった。規約変更は塚田事務局長で対応。
 - 2) 副会長1名増員について
桐山副会長 それぞれの負担軽減のために増員が必要(3名まで可能)→次回に持ち越し

編集後記

段々と涼しくなり日が短くなってきましたが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。パリオリンピックを通して施設利用者様を含め職員も沢山の刺激を受けました。加えて、昨年と比べ今年は少しずつ施設内行事等を開催することができ、楽しみの場が増えてきています。コロナ禍前の生活を取り戻すにはまだ時間がかかりそうですが、感染予防に気をつけながら穏やかな生活を送れるように努めたいと思います。 H.Y

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所
学校法人金城学園 金城大学 (学長 米島 學)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 担当(総務企画課)
株式会社 富山県義肢製作所 (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満)	〒932-0814 小矢部市赤倉207 リハビリ・デイサービスおやべ TEL 0766-67-2001
医療法人社団桑山会 丹保病院 (病院長 丹保 仁)	〒933-0918 高岡市大坪町1-1-3 TEL 0766-22-3719 山本 様

一般社団法人 富山県作業療法士会より

メーリングリスト登録のお願い

現在、メールを通じて、ホームページや施設宛ての発送以外に多くの情報を配信しています。
これまでに、多くの会員の方に登録していただきました。
登録がお済でない方は、登録をお願いします。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会の開催や変更に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報(制度改定や最新情報等)
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録

<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

